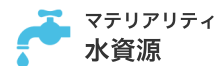


水使用量の削減



マネジメント情報

事業活動との関わり

不二製油グループの事業活動は、原材料の農作物の生産や、製品の製造工程において水を使用、排出しており、水資源の適切な管理は重要な事業課題と認識しています。

考え方

世界における水資源不足の問題は深刻化しており、地球温暖化の進行により、今後数億人が水ストレスの増加に直面し^{※1}、2080年にはさらに18億人が必要な水を利用できない状態になる可能性が指摘されています^{※2}。このような状況を認識し、不二製油グループは、「環境基本方針」に基づいて水資源の保全に取り組んでおり、2030年に達成を目指す「環境ビジョン2030^{※3}」において、グループ全体での水使用量の削減についてコミットメントを表明しています。また、当社グループの事業活動が及ぼす影響を特定・是正するために、水に関するリスクを把握し、対策しています。取水や排水が環境に与える影響をできる限り軽減すべく、各国・地域の基準・規制に沿った、あるいは基準・規制を上回る独自の指標のもと管理に努めています。

＞ 不二製油グループ 安全品質環境 基本方針（PDF形式、306KB）

※1 IPCC（気候変動に関する政府間パネル）「1.5°C特別報告書」より。

※2 UNDP「人間開発報告書2007/2008」より。

※3 環境ビジョン2030の詳細については、以下のURLをご参照ください。

＞ https://www.fujioilholdings.com/sustainability/environmental_management/

推進体制

水使用量の削減については、2021年度は最高ESG経営責任者（C“ESG”O）の管掌のもとで取り組みを推進していましたが、2022年度からESG担当役員のもとで推進する体制としています。また、ESGマテリアリティ^{※1}の一つとして、取締役会の諮問機関であるサステナビリティ委員会^{※2}において進捗や成果を確認しています。

※1 ESGマテリアリティの詳細については、以下のURLをご参照ください。

＞ <https://www.fujioilholdings.com/sustainability/materiality/>

※2 サステナビリティ委員会の詳細については、以下のURLをご参照ください。

＞ https://www.fujioilholdings.com/sustainability/sustainability_management/

目標・実績

2030年目標 ^{※1}	2021年度実績 ^{※1}	達成率
原単位 ^{※2} で20%削減（グループ全体）	25%削減	124%

※1 基準年：2016年度。

※2 生産量当たりの水使用量。

○：目標に対して90%以上達成、△：目標に対して60%以上達成、×：60%未満

2021年度目標	2021年度実績	自己評価
環境ビジョン2030の社内浸透	<ul style="list-style-type: none"> グループ会社に対する環境ビジョン2030の説明を通じ、理解の深化を促進（オンラインで実施） グループ会社に対する環境データ集計と分析のフィードバック、および好事例の横展開を実施 	○
環境監査を通じた水使用量の削減活動のレベルアップ	環境監査を4社に実施。検証、評価して改善を促すことで意識向上とグループ全体のレベルアップを促進	○
水使用量の削減戦略を立てやすい環境整備（担当者がタイムリーかつ容易に水関連データを確認できる収集システムの導入、水のリサイクル方法やより水使用効率の良い装置導入などの好事例の横展開）	環境データ収集システムの導入によりタイムリーなデータ取得環境を整備	○

考察

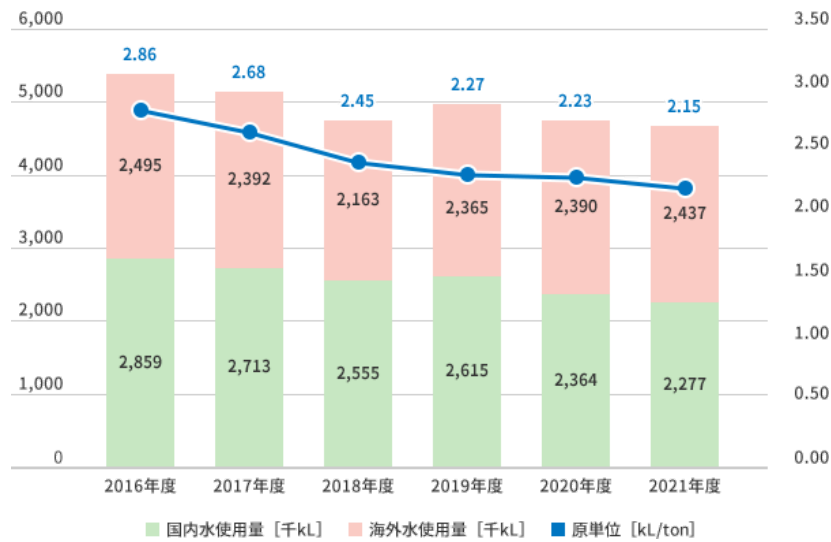
2030年目標に対する取り組み

水使用量原単位は、前年の22%削減に対し、2021年度は25%削減となり、3ポイント好転しました。目標の20%削減に対しては、達成率124%となりました。新型コロナウイルス（COVID-19）の影響に改善の兆しが見えてきたことに伴い生産量が増加しましたが、水使用量は減少しました。国内では、生産設備の洗浄方法を見直したことが洗浄水の削減につながり、水使用量の減少に寄与しました。海外では、生産設備の洗浄回数削減や漏水対策などが寄与しました。

2021年度目標に対する取り組み

「環境ビジョン2030」の達成に向け、オンライン環境監査を通じて環境ビジョン2030の説明や節水の考え方などを共有しました。2021年度から導入した環境データ収集システムを活用し、タイムリーな情報収集やその分析を行い、削減活動に活かしていきます。

年間水使用量と原単位推移



Next Step

- 環境データ収集システムによるタイムリーな環境データ収集の開始
- 新たな削減目標の検討・策定
- 削減活動の推進およびレベル向上

具体的な取り組み

リスク管理と対策

不二製油グループでは、取水量・水質、風水害、排水規制違反などの水リスクをさまざまなリスクの一つとして管理しており、各グループ会社が重要リスクの特定、対応策立案・実施、評価・改善などのリスクマネジメントのPDCA活動を展開しています。具体的には、Aqueduct[※]の分析結果を参考にするとともに、リスクマップを活用した当社グループのリスクマネジメントシステムに基づいて、各グループ会社が立地する地域の水リスクを評価しています。その結果、中国のグループ会社における排水規制違反リスク、インドネシアのグループ会社における洪水リスクなどを重要なリスクとして認識しており、リスクの発生防止・リスク発生時の被害低減などを図るための対策を講じています。

※ Aqueduct：世界資源研究所（WRI）が発表した、水リスクを示した世界地図・情報を提供するツール。

グループ会社における節水活動

2021年度の節水活動の一例は以下のとおりです。

- 不二製油（株）の関東工場や（株）エフアンドエフでは生産設備の洗浄方法を見直すことで、洗浄水を削減しました。
- 不二製油（株）の千葉工場では生産ラインの稼働率が上がったことで生産設備の洗浄回数が減少しました。
- 不二製油（張家港）有限公司（中国）では蒸気の濃縮水を消火用水として再利用しました。
- フレイアバディ インドタマ（インドネシア）、フジオイル（タイランド）、不二製油（肇慶）有限公司（中国）では生産工程中の漏水箇所を修繕しました。

関連資料

ESGデータブック（3.15MB） 